

集落営農地帯における地域計画の取組と、次世代の集落営農を担う者の確保

滋賀県竜王町、(農)庄米工房

認定農業者	52経営体 うち集落営農法人19	農地面積	1,283ha	主な農畜産物	水稻・麦・大豆・肉牛
-------	---------------------	------	---------	--------	------------

地域の現状・課題

- ・竜王町は滋賀県の琵琶湖の東岸に展開する湖東平野に位置する
- ・面積は44.55km²で農用地は約29%
- ・平野部では良質な近江米と麦・大豆をブロックローテーションで作付け
- ・畜産は近江牛発祥の地として有名
- ・農業集落は27で、全てに営農組織があり、そのうち農事組合法人は19経営体
- ・農業の担い手の高齢化や後継者の確保が課題
- ・農業振興ビジョン（長・短期計画）を策定し、新たな農業振興をスタート

滋賀県



(農) 庄米工房の経営概要

・庄米工房は、竜王町の北部に立地。当法人は、庄集落内の全農家23戸による出資にて設立。集落内のすべての水田農地（24.5ha）を当法人が経営。

・「庄村の田んぼは庄村で守る」を合言葉に水稻の共同機械利用と麦の協業を行う庄農業生産組合を平成7年に設立。平成22年に経営の安定と営農体制の強化、発展を目指して、現在の法人へ移行。



竜王町における地域計画の取組

【課題】地域計画策定の動機付けと取組支援

- ・コロナ禍で減少した集落内の話合いの再開と動機付け
- ・農業者だけでなく自治会等の参画
- ・進捗管理や集落と個別経営体との調整

【取組概要】

- ・町の農業振興ビジョンに地域計画と、圃場の大区画化など将来展望の提示
- ・交付金等を活用し集落活動を活性化
- ・自治会役員等を含めた研修会の開催
- ・集落と大規模個別模経営体との調整
- ・町と農業委員・県・JAの連携による集落別の取組点検や話し合いの支援



中間確認会で取組点検

(農) 庄米工房の次世代を担う者の確保に向けた取組

【課題】法人組合員の高齢化・後継者の確保

- ・高齢の組合員の後継家族（30代～40代）7名と30代の組合員3名を合わせた計10名で「青年会」を組織化。

・青年会自ら、各会員に農作業を割当。ベテランオペレーターの指導の下、円滑に農作業技術を習得する機会を創出。

・お揃いの作業着制作やスマートフォンアプリのグループ登録等による青年会内の仲間意識の醸成。



田植作業講習会



おそろいのジャンパー